

2025 JFFID 日本代表候補合宿トレーニングマッチ VS 栃木SCユース



日時	2025年4月29日 9:00				試合形式	90分				
会場	さくらスタジアム				ピッチ状態	天然芝				
日本代表			0	0 前半 4	6			栃木SCユース		
				0 後半 2						
警告・退場		後半	前半	チーム合計			前半	後半	警告・退場	
		6	1	7	シュート	17	11	6		
		10	7	17	GK	6	5	1		
		0	0	0	CK	6	3	3		
		0	2	2	直接FK	3	2	1		
		5	2	7	間接FK	0	1	0		
		5	2	7	(オフサイド)	0	1	0		
		0	0	0	PK	0	0	0		

【日本】

1 set



2 set



【栃木SCユース】

1 set



2 set



【得点経過】

1 s e t

11分[栃木 SC ユース]GK 原田が浮き球のバックパス処理を試みたが相手にボールを奪われ、NO.18 に押し込まれて失点。

19分[栃木 SC ユース]左サイドからペナルティエリア内に侵入した NO.9 にマイナス方向へのクロスボールを上げられ、走り込んだ NO.18 にワンタッチで合わせられ、失点。

22分[栃木 SC ユース] 右サイドから NO.9 にマイナス方向へのクロスボールを上げられ、走り込んだ NO.14 にワンタッチで合わせられ、失点。

33分[栃木 SC ユース] 右サイドから NO.10 にマイナス方向へのクロスボールを上げられ、走り込んだ NO.14 にワンタッチで合わせられ、失点。

2 s e t

58分[栃木 SC ユース]中央のペナルティエリア内でパスを受けた NO.29 が抜け出し、シュート。

82分[栃木 SC ユース]NO.35 が中央ペナルティエリア内の混戦からゴール。

【交代】

1 s e t

39分[栃木 SC ユース] IN NO.7 ⇔ OUT NO.10
IN NO.23 ⇔ OUT NO.33
IN NO.21 ⇔ OUT NO.1

2 s e t

68分[栃木 SC ユース] IN NO.38 ⇔ OUT NO.7
IN NO.34 ⇔ OUT NO.4
IN NO.35 ⇔ OUT NO.37
87分[日本] IN 大久保 ⇔ OUT 下鶴
IN 原 ⇔ OUT 小才

ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

- ・中央突破(2人はDF間突破+3人コンビネーション)
- ・サイド崩し(ソロ)(コンビネーション)(ニアゾーン)
→ニア・プルバック・ファー
- ・ビルドアップ
→少ないタッチ+パススピード(緩急)+サポート

守備コンセプト

- ・1vs1で絶対に負けない
- ・前線、中盤の守備、ゴール前の守備 (PAに入らない・2ブロックコントロール)
- ・クロス対応 (同一視・人をつかまえる・ボールに寄せる・GKと連携)
- ・プレスバック

切り替え

- ・【守→攻】1タッチプレー、カウンター、直線(逆サイド)に飛び出す、インターセプトパス
- ・【攻→守】状況に応じ「ゴールを守る」が優先

ゲーム内容

日本代表は、ビルドアップからフィニッシュ、高い位置の守備からゴール前の守備に至るまで、キャンプで積み上げてきたことにチャレンジし、一つでも多く発揮できるよう試合に臨んだ。キャンプ最終日で疲労が蓄積する中でも、選手たちは最後まで粘り強くプレーを続けた。

一方の栃木 SC は、相手に応じて立ち位置を変えながら、サイドチェンジを効果的に使ってピッチ広く活用。日本代表の1stDFが遅れたことで、ゴール前まで迫られる場面が多くなってしまった。

前半は、浮き球のバックパスの処理ミスからボールを奪われ、先制点を献上。さらに、マイナス方向へのクロスボールの守備対応が甘く、連続して失点を喫し、0-4で前半を折り返すこととなった。

後半は、選手同士でコミュニケーションを取り、1stDFを明確にすることで、徐々に栃木 SC の攻撃に対応できるようになった。運動量が落ちた時間帯には中央を崩され追加点を許したが、日本代表もシュートを6本放つなど、ゴール前まで迫る場面を増やすことができた。

結果は0-6の敗戦となったが、随所にトレーニングの成果が表れた試合であり、疲労のある中でも一定の手応えを感じられる内容であった。